

日本内分泌病理学会 理事会 議事録

日 時：2013年4月26日（金）12:20～13:30

場 所：仙台国際センター 3階 小会議室7

出席者：成瀬光栄 理事長、覚道健一、山田正三、笹野公伸、加藤良平、
吉本勝彦、屋代隆、田辺晶代、柴田洋孝 の各理事、
方波見卓行、松野彰 の各監事、
長村義之 顧問

欠席者：島津章(委任状提出)、戸田修二(委任状提出)、山下俊一、亀山香織の各理事

議 題：

<審議事項>

- | | | |
|---------------------|-------|-----|
| 1. 会則（定款）改訂の件 | ----- | 山田 |
| 2. 特別功労賞及び佐野賞の候補者の件 | ----- | 理事長 |
| 3. 学会名称変更の件 | ----- | 理事長 |

<報告事項>

- | | | |
|---------------------------------------|-------|-----|
| 1. 第16回（2012年度）学術総会の報告（決算を除く） | ----- | 笹野 |
| 2. 第17回（2013年度）学術総会の概要 | ----- | 方波見 |
| 3. 第18回（2014年度）学術総会の準備状況 | ----- | 屋代 |
| 4. 第87回（2014年度）日本内分泌学会学術総会プログラム委員会の結果 | ---- | 山田 |
| 5. 第89回（2016年度）日本内分泌学会学術総会のプログラム委員 | ----- | 理事長 |
| 6. コンサルテーションの状況 | ----- | 覚道 |
| 7. 学会ロゴマークの件 | ----- | 屋代 |

<その他>

会員の状況について ----- 理事長

冒頭、成瀬理事長より欠席理事から2通の委任状が提出されているので、定足数を満たし本理事会は成立する旨報告があり、引き続き、同理事長の司会により議事進行が行われた。

<審議事項>

1. 会則（定款）改訂の件

山田庶務担当理事から、賞の種類が増えたことにより、会則第32条を下記のように改訂したいとの提案があり、全会一致で承認された。今年度の総会に諮り正式に改訂する。

改訂 (案)	現行
<p>(顕彰)</p> <p>第 32 条 関連分野における<u>優れた</u>研究者に対して別に定める細則に基づき、<u>特別功労賞、佐野賞および</u>研究賞を授与する</p>	<p>(研究賞)</p> <p>第 32 条 関連分野における研究者に対して別に定める細則に基づき、研究賞を授与する</p>

2. 特別功労賞および佐野賞の候補者の件

成瀬選考委員長より、選考の経緯についての説明とともに、下記の候補者を選考委員会から受賞者として推薦したいとの提案があり、それぞれ全会一致で承認され決定した。今年度の総会に報告される。

推薦・応募締切：2013 年 2 月末日

選考委員会（持ち回り審議）：2013 年 3 月 6 日～19 日

（追加資料による佐野賞再審議）：4 月 4 日

選考委員：成瀬理事長（＝委員長）、山田、笹野、覚道、加藤の四筆頭理事、
方波見今年度学術総会会長

(1) 特別功労賞：3 名

- ・ 笹野伸昭
- ・ 川生 明
- ・ 亀谷 徹 の各名誉会員

(2) 佐野賞：1 名

- ・ 西岡 宏 評議員

3. 学会名称変更の件

成瀬理事長より、本学会の今後の発展、会員増のため、医療、医学の情勢を十分に考慮しながら取り組む案件である点が説明され、今後も継続審議とすることが了承された。

<報告事項>

1. 第 16 回（2012 年度）学術総会の報告

笹野当該会長より、開催および多数参加への協力に対し、謝辞があった。

2. 第 17 回（2013 年度）学術総会の概要

方波見当該会長より、下記のように概要の説明があった。

テーマ：Significance of Crosstalk between Clinician and Pathologist

会 期：2013 年 10 月 4 日（金）～ 5 日（土）

会 場：関内新井ホール

横浜市中区尾上町 1-8 関内新井ビルディング 11F

TEL：045-681-6763

<http://www.seitaroarai.co.jp/in/realestate/hall.html>

演題募集期間：2013年5月27日（月）～2013年7月5日（金）

学術総会ホームページより応募

www.nacos.com/jeps/convention.html

プログラム

- ・特別講演：3題
- ・特別企画（共催セミナー）：内分泌病理入門コース（6題）
 - 1) 内分泌病理総論
 - 2) 免疫組織染色の意義と使い分け
 - 3) 各論 副腎疾患
 - 4) 各論 神経内分泌腫瘍
 - 5) 各論 下垂体疾患
 - 6) 各論 甲状腺疾患
- ・ランチョンセミナー：2題

なお、理事会は下記会場にて2013年10月3日（木）、18時頃開始予定である。

ホテルモントレ横浜

〒231-8526 横浜市中区山下町6-1

TEL 045-330-7111（代表） FAX 045-662-3536

<http://www.hotelmonterey.co.jp/yokohama/>

3. 第18回（2014年度）学術総会の準備状況

屋代当該会長より、予定の会期及び会場について下記の説明があった。また日本神経内分泌学会（岩崎会長）とのリレー開催にしたいとの提案があり、了承された。なお、日本ステロイドホルモン学会からは、正式な申し入れが行われた時点で判断することとした。

会 期：2014年10月31日（金）～11月2日（日）、または

11月1日（土）～11月3日（月・祝）で、中日に共通テーマのシンポジウム及び合同懇親会を予定。

会 場：都道府県会館

4. 第87回（2014年度）日本内分泌学会学術総会プログラム委員会の結果

山田プログラム委員より、2013年4月25日（木）に開催された第三回委員会の結果、当学会提案のうち、下記のテーマが採用されたとの報告があった。また、「特別講演」演題を至急募集し、プログラム委員会へ追加提案することになった。

シンポジウム：「日常診療における下垂体腫瘍の病理学的検査の臨床的意義」

教 育 講 演：「本邦における褐色細胞腫の診療アップデート」

「がんにおける幹細胞とその臨床的意義」

「細胞外マトリックスによる下垂体前葉細胞の機能調節機構とその形態学的アプローチ」

クリニカルアワー：「内分泌病理から臨床へのフィードバック」

CPC：「原発性アルドステロン症の病理診断の進歩」

5. 第 89 回（2016 年度）日本内分泌学会学術総会のプログラム委員

成瀬理事長より、方波見監事を当学会代表のプログラム委員に推薦し、2013 年 4 月 24 日（水）の日本内分泌学会理事会において承認・決定されたことが報告された。方波見委員は第 89 回・90 回の委員を務める。

6. コンサルテーションの状況

覚道コンサルテーション委員会委員長より、1 件の問い合わせがあったが、実際にはコンサルテーションの依頼がなかったことが報告された。コンサルテーション開始を周知するために、日本内分泌学会の HP での広報を依頼することとした[事後記載：2013 年 5 月 14 日に HP 掲載完了]。

7. 学会ロゴマークの件

屋代 HP 委員より、決定されたロゴマークを HP に掲載したこと、また学術総会等での使用が推奨された。

<その他>

会員の状況について

成瀬理事長より、最近の年度初時点での会員推移は 187 名（2011 年）、238 名（2012 年）、256 名（2013 年）で、会員が順調に増えているとの報告があった。

なお、会費納入率については秋の決算時に報告し、必要に応じて役員から未納者に対し会費納入の促進を図ることとする。

以上

（記録：事務局・岸、理事長・四筆頭理事・会長校閲済）